

## 報道資料

国連（経済社会理事会特殊協議資格）NGO 認定NPO法人テラ・ルネッサンス

**培ってきた縫製技術を活かし、晒しでつくった布マスクの製造を開始**

岩手県上閉伊郡大槌町にて「大槌復興刺し子プロジェクト(大槌刺し子)」を運営する認定NPO法人テラ・ルネッサンス(事務局:京都府 理事長:小川真吾)は、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、東日本大震災以降、培ってきた縫製技術を活かし、「晒し（さらし）でつくった布マスク」の製造を開始。同プロジェクトオンラインストアにて、1,320円にて発売。

「大槌復興刺し子プロジェクト」では、東日本大震災で甚大な被害を受けた大槌町の女性たちの心理的負担の軽減や、生き甲斐と仕事を生み出すために始めた「大槌復興刺し子プロジェクト」を通して、2019年3月末日までに、累計205名の「刺し子さん」に、3,600万円の加工賃をお支払いしてきました。

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、大槌復興刺し子プロジェクトスタッフ（大槌在住）より、「こんな時だからこそ、少しでも皆さまのお役に立ちたい」と、布マスクの製造を提案。施策を重ね、4月7日より同プロジェクトオンラインストアにて発売開始。当初、用意していた40セット(80枚)の布マスクは、発売開始2時間で完売するほどの好評をいただいています。

大槌復興刺し子プロジェクト事業部長・吉田真衣は「布マスクには感染防止効果に様々な意見があります。けれども、ウィルスは手で顔を触ることを通して、目、鼻、口などから感染するとも言われています。布マスクの着用によって、少しでも皆さまの不安を取り除くことができれば。」と語ります。

## ◆商品概要



品名：晒しでつくった布マスク

価格：1,320円（内税）

サイズ：マスク：約19cm×約13cm 耳かけ：約13cm

素材：生地・刺し子糸：綿100% 耳かけ：ナイロン100%

- ・木綿の晒しを使用しています。
- ・生成りの晒しは、安全性に配慮したノンホルマリン工程で製造された晒しを使用しています。
- ・耳かけにはウーリースピンテープを使用しています。柔らかく少し伸縮性もあるテープです。

## ◆購入方法・注意事項

- ・弊会ウェブ (<https://sashiko.jp/>) より、クレジットカード・銀行振込・代金引換にて受付。
- ・お洗濯の際は、手洗いをお勧めします。
- ・マスクを外した後は、洗濯してください。付けたり外したりの繰り返しは、ばい菌の繁殖に繋がります。1日1度の洗濯をお勧めいたします。
- ・本マスクは、市販されているマスクのような高機能な仕様は持ち合わせておりません。病気の感染やアレルギーの発症などを完全に防ぐことはできませんので予めご了承ください。
- ・材料の品薄、価格の高騰により、予告なく価格が変わることがあります。

## ◆この件に関するお問い合わせ（取材）について

認定NPO法人テラ・ルネッサンス 大槌復興刺し子プロジェクト事業部長：吉田（よしだ）

メール：[m\\_yoshida@terra-r.jp](mailto:m_yoshida@terra-r.jp) 電話：080-3935-9841

### ○ 大槌復興刺し子プロジェクト

2011年6月に東日本大震災で甚大な被害を受けた大槌町にて、支援に関わっていた5名の東京のボランティアが発足させ、現在は認定NPO法人テラ・ルネッサンスが運営。生活再建、心理社会的負担の軽減、現地雇用の促進などを目的に、東北に根付く「刺し子」を生かした商品を作成・販売。2019年3月末までに、累計205名の刺し子さんに約3,600万円以上の製作費を手渡してきた。<https://sashiko.jp/>

### ○ 認定NPO法人テラ・ルネッサンス

『すべての生命が安心して生活できる社会 (=世界平和) の実現』を目的に、2001年に鬼丸昌也によって設立。現在では、カンボジア・ラオスでの地雷や不発弾処理支援、地雷埋設地域の生活再建支援、ウガンダ・コンゴ・ブルンジでの元子ども兵の社会復帰支援を実施。また、日本国内では、平和教育（学校や企業向けの研修）や、岩手県大槌町を中心に、被災者支援活動を展開しています。国連経済社会理事会特殊協議資格NGO。独立行政法人国際交流基金「地球市民賞」、一般社団法人倫理研究所「地球倫理推進賞」受賞。理事長：小川真吾 <http://www.terra-r.jp>